

《肥料の施肥例(つるあり)》

連作や酸性土壌に弱いので石灰や堆肥を十分に施し、高うね・深耕を基本に3年は輪作をするように☆

◎元肥 (1㎡当たり)

おいしい菜園 → 80g
他に…トヨクween(石灰) → 150g
吟遊詩人(バーク堆肥) → 3kg
PKマグ32 → 60g …など

◎追肥 (1㎡当たりの1回の量)

おいしい菜園 → 30g
※1回目は本葉1~2枚の時、2回目は収穫盛期(または草丈1m前後)に追肥。特に1回目の追肥は遅れないように…。
※つるなし種は最初の一回目のみ行いその後は追肥を控えること!

《曲がり果は肥料切れのサイン》



この肥料の特徴

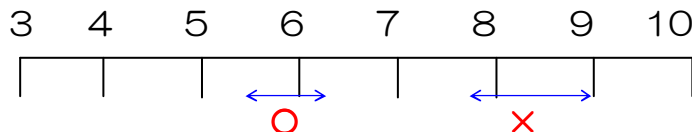
栗のような形状で水に溶いて液肥にもでき、土を荒らさない安心で安全な中性化成肥料。速効性だが元肥・追肥両方に使用できる。

いんげん

▶特徴と栽培のポイント

いんげん豆は、隠元禅師が中国から持参したと言われ古くから栽培されています。むき実用・さや用ともに幅広い栄養素が豊富に含まれ、疲労回復や高血圧・高血糖の方にもってこい♪ 沢山なるので収穫も楽しめます。

▶栽培カレンダー ○播種 ▲定植 ×収穫



いんげんを播種する時は水に浸けずに、そのまま播種するのが鉄則(膨張して皮が破れたり、子葉や胚軸が割れるため)。生育中は冷涼な気候を好み、日当たりと排水を考慮し株間は広めにとって誘引する。又、つる性種は収穫期が遅く、こまめに追肥するのに対しつるなし(わい性)種は生育期間が短いため追肥の回数、量を控える。特にチッソ肥料(尿素など)は極力与えないこと。

最も注意が必要な病害虫はハモグリバエ等の害虫や、うどんこ病、根腐れなどで、梅雨頃から出やすくなるので注意する。

《人気の品種》

●さつきみどり2号

定番のつるなし丸莢品種で、播種後約55日で収穫の極早生種。特に緑が濃く、筋がなく柔らかで曲がりが少なく風味も豊か。莢長は約14cm。

●モロッコ

つるあり平莢で筋がなく、草勢が強く着莢良好で品質も良い。露地栽培で



は60日程度で収穫できる極早生品種。実がふっくらしており採り遅れても硬くならず美味。
※つるなしタイプもあり

●本金時(つるなしインゲン)

子実は深紅色の大粒で、煮豆や甘納豆でも有名な平莢の金時豆。実とりは5月播種で9月頃が収穫適期。ごく若い莢のうち、さやいんげんとして食す事も出来る(6~7月頃)。

